

(財)三重県交通安全協会

# 交通安全みえ

2008 / 初冬号 No.159

発行所  
 (財)三重県交通安全協会  
 三重県交通安全活動推進センター  
 (三重県公安委員会指定)  
 〒514-0004  
 津市栄町1-954 三重県栄町字舎5F  
 TEL 059-228-9636  
 URL http://www.mie-ankyō.com

## 北から南から ～各地区の活動～

交通安全協会は**交通事故を減らす**ための幅広い活動を行っております。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 新入園、小・中学校への交通安全資材・器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

亀山地区交通安全協会と津地区交通安全協会の効果的活動はP2にズームアップ!



わたしはシンボลมスコット「ストッピー」です。

 小学校運動会で交通安全啓発活動	 水戸黄門のメロディーで交通安全の歌	 交通事故防止にアンパンマンも大活躍!	 高齢者交通安全自転車大会開催
 交通事故なしキャンペーンで(梨)を配布	 大人気!ストッピーキーホルダー作成	 高齢者自転車乗り方教室開催	 総勢200名による交通安全パレード
 大台中学校の生徒と啓発活動	 伊勢大祭りで女性部が「交通安全音頭」	 敬老会で高齢者交通安全講習会	 三船中学校の生徒とミルミルウェーブ
 女性部による「自転車の乗り方」紙芝居	 今日も元気で安全に「行ってらっしゃい!」	 忍者姿でミルミルウェーブ	 高齢者の事故防止で「長寿寿」配布

# Who's today's Bob?

～ハンドルを握り、仲間の命を守る人～

「今日のボブは誰?」の合い言葉で、仲間と飲食店へ行く場合にお酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人は飲酒せず、仲間を自宅まで送り届けるボブ運動。

1995年にベルギーの交通安全協会とビール醸造会社が協力して始まった運動で、現在ではヨーロッパの国々で実施されており、特にオランダでは国民の95%以上に知られているほど盛んです。

日本では、これを参考に平成18年10月27日から「ハンドルキーパー運動」が始まりました。この運動を定着させ効果を上げるには、ドライバーの皆さんはもちろん、酒類を提供するお店の方の協力も必要です。ハンドルをキープして、尊い命をキープしましょう!

### 飲酒運転追放

#### ◆酒類を提供するお店の方へ◆

1. お客様がお車で来店されたかどうかご確認ください。
2. どなたがハンドルキーパーかをご確認下さい。
3. ハンドルキーパーには、アルコール類を提供しないで下さい。
4. ハンドルキーパーには、目印となるものをお渡しするか、目印となるものを席に置いて下さい。
5. お客様が運転代行等を依頼して帰られる時は、その確認ができるまで、お車のキーをお預かり下さい。

## 年末の交通安全県民運動 平成20年12月11日(木)～20日(土)

### ●運動の重点

#### 高齢者の交通事故防止

歩行中は横断歩道外での横断・信号無視が多く、自転車・自動車乗車中は、前方不注意・一時不停止による事故が多くなっています。ドライバーは高齢者に配慮し、思いやりのある運転を、また、高齢ドライバーは、ゆとりを持って安全運転に努めましょう。

#### 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

道路交通法の一部改正により、後部座席のシートベルトの着用が義務化されましたが、まだまだ着用率は低い状態です。車に乗った時は、どの席でもシートベルトを着用し、乳幼児を乗せる時は、チャイルドシートを必ず着用しましょう。

#### 飲酒運転の根絶

年末にかけて飲酒をする機会が多くなります。お酒を飲んだら絶対に車を運転しない・お酒を飲んだ人には車を運転させない・車を運転する恐れのある人にはお酒をすすめないことを必ず守り、飲酒運転を根絶しましょう。

**三重県交通安全県民大会開催**

- 日時 平成20年12月17日(水) 13:00～16:00
- 場所 津市一身田上津部田1234 三重県男女共同参画センター多目的ホール (三重県総合文化センター内)
- 参加費 無料



## 平成21年使用 交通安全ポスターデザイン募集

- 主催：財団法人全日本交通安全協会 毎日新聞社
- 後援：内閣府 警察庁 法務省 文部科学省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 NHK
- 協賛：JA共済連 社団法人日本自動車工業会
- 発表：平成21年3月中旬
- 表彰：平成21年3月下旬
- 賞：内閣総理大臣賞 内閣府特命担当大臣賞 警察庁長官賞 文部科学大臣奨励賞 全日本交通安全協会会長賞 毎日新聞社賞 佳作 ※小中学生の応募者全員に参加賞を贈呈
- 募集期間：平成20年11月下旬～平成21年1月31日(必着)

応募部門	応募方法	応募要領	備考
こども部門	○住所・氏名・生年月日・職業(学校名)・電話番号を明記した応募票(自作可)を作品の裏面に貼付。	○必ず平成21年使用内閣総理大臣賞受賞スローガンを原文のまま入れる。平仮名は平仮名のまま、漢字等に直したり、句読点や括弧などの付加は失格とする。	○応募作品は一人何点でもよく、制作は多数の共同作品でも可。
一般部門	○学校からの一括応募の場合は必ず学校の連絡先と応募者リストを添付。	○交通標識などは正しく書き入れること。 ○車内の人物にはシートベルトを着用、自転車で乗った児童や幼児にはヘルメットを着用させること。	○自作・未発表のものに限る。 ○パソコンを利用して描いたものも可。 ○入賞作品の著作権は、主催者に帰属し返却はしない。 ○ポスター作成の際、加筆修正することがある。

※年間スローガンは11月下旬の毎日新聞紙上およびNHKテレビ・ラジオで発表されます。  
 【送り先】 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 毎日新聞東京本社事業本部「交通安全ポスター係」  
 【TEL】 03-3212-0188

# 交通安全協会 重点3対策



重点3対策モデル地区指定書交付式

● **女性部活動の強化**  
 ● **中・高校生に対する対策**  
 ● **身体障がい者等の対策**

本年から、安全協会の活動基盤の強化を図り、会員加入の拡大を目的とした、

の3対策を推進することとし、積極的な取り組みを各地区協会にお願いしております。すでに、推進重点を掲げ、具体的な活動が開始された地区もあります。このたび、更なる推進の定着・拡大を図るため、3つの対策についてモデル地区の選定を行い、同時に本年から平成22年までの「3ヶ年目標」を示すこととして、去る8月25日に開催された「県下地区事務局長会議」において、指定書を交付致しました。



交通安全親子グラウンドゴルフ大会(伊賀)

**1 女性部活動の強化**

**【目的】**  
 女性部会員の拡大と活動の活性化及び女性関係団体との連携活動の推進

**【モデル地区】**  
 桑名 いなべ 亀山 鳥羽 熊野 伊賀

**【推進活動事項】** (例)  
 ● 独居老人宅への訪問指導活動  
 ● 女性対象のペーパードライブパソコンテスト  
 ● 地域でのバザー等への参画・開催  
 ● 母の会・PTA等の会合を通じた加入促進  
 ● 親子交通安全教室の開催など柔らかく温かみのある女性ならではの企画・発想・観点を活かし、地域住民と関わる活動が求められます。

**2 中・高生の安全マインド高揚対策**

**【目的】**  
 近い将来ドライバーとなる中・高校生への教育・育成と、自転車や歩行者も交通社会の一員であることの意識付けを行い、安全マインドの高揚を図り交通安全協会への参画及び交通事故防止の推進

**【モデル地区】**  
 四日市南 津南 松阪 大台 尾鷲 紀宝

**【推進活動事項】** (例)  
 ● 街頭指導・街頭活動への参加  
 ● イベント等での音楽部員の演奏  
 ● 学校周辺を中心とした「危険マップ」の作成  
 ● 自動車学校への一日体験入学  
 ● 全校集会時での「ヒヤリ・ハット」体験の発表

などドライバーとなる前の段階から、生徒自身が通学中の自らの立場や周囲の交通との関係を意識することで、路上での危険を知ること・交通弱者を思いやる気持ちを成長させる機会を与える活動が求められます。

**3 身体障がい者等交通弱者対策**

**【目的】**  
 身体に障がいのある人等交通弱者の交通事故防止に係る活動の強化

**【モデル地区】**  
 四日市北 鈴鹿 伊勢 四日市西 津 名張

**【推進活動事項】** (例)  
 ● 手話の取得など、職員の窓口対応の技術向上  
 ● 車椅子の配置とバリアフリー化の働きかけ  
 ● 健常者を対象とした弱者保護の講習内容の強化  
 ● 老人クラブの会合等への出席による指導活動  
 ● 「正しい自転車の乗り方モデル校」の指定



交通安全活動推進モデル校指定式(四日市南)

など子供や高齢者、障がい者の方に対して交通安全教育を展開していく上で必要な知識と技術を向上させること、また、交通弱者が参加体験できる場を提供し、安全・安心に暮らせる環境作りを目指した活動が求められます。

以上、3対策に対し各6地区ずつを、重点対策推進モデル地区に選定しましたが、モデル地区以外の地区にありましても、主旨を理解の上、積極的な取り組みをお願い致します。

それには、各地区の特性を活かしながら、状況に応じて地域に根差した活動を展開し、**初年度には種を蒔き、二年目には花を咲かせ、三年目には実がなるように**、願っています。



車椅子ダンス&フォークダンス(亀山)

## 亀山地区交通安全協会

“高齢者の二輪車安全運転講習会”開催



亀山市内では、高齢者が二輪(原付)を利用して外出するケースが多いことから、亀山自動車学校において、正しい二輪車の乗り方と法令知識の習得、身体能力の自覚について講習会を実施。70代の女性を中心に20名が参加し、日常点検や運転姿勢、ブレーキのかけ方などを学びました。

当日は雨天の為、屋内での実施となりましたが、参加者からは、屋外でまた講習を受けたいとの声も上がっていました。



## 津地区交通安全協会

“交通事故を防ぐ活動をしている人々”授業風景



三重大学附属小学校4年生の「地域の安全・安心を守る人々」をテーマにした社会科の授業で、交通安全協会の仕事や事故の実態について講話をしました。“安全”が当たり前には保たれていくのではなく、“守る活動”があることを知ってもらいました。

子供たちの中には、事前にインターネットで安全協会の仕事について調べ、質問をする姿も見られ、関心の深さがうかがえました。

# ANKYO-NEWS

## 桑名地区交通安全協会 女性部会表彰

おめでとうございます

### ～一人一人の命を大切に～ 願いを込めた七夕飾り

このたび、桑名地区交通安全協会女性部会が平成元年より毎年、桑名警察署と幼稚園へ「交通安全七夕飾り」の贈呈を行っている活動に対して、「小さな親切運動」三重県本部から表彰を受けました。

「小さな親切運動」三重県本部は、昭和57年に発足し活動を続けている団体で、この運動は一般の方から推薦を受けた、身近な所で親切な行いをした個人や団体を表彰するものであり、今年は桑名地区女性部会や福祉施設で歌を披露しているコーラスグループ、自宅前を清掃している方など、4個人と7団体が選ばれました。



## 四日市南地区交通安全協会 交通安全啓発DVD作成

### ～自主制作交通安全啓発DVD～ 「交通事故ゼロを目指して」

県内初!



“身近な交通事故現場を知ってもらうことで、交通安全への意識が高まれば”と、四日市南地区交通安全協会では、県内の地区交通安全協会として初めて、交通安全啓発DVD「交通事故ゼロをめざして」を作成し、四日市南警察署長へ贈呈を行いました。

このDVDでは、諏訪栄交差点をはじめ、四日市南署管内の交通量や事故の多い交差点の状況と事故防止対策について、映像と図で分かりやすい説明の上、交通安全協会の活動も紹介されています。

また、全日本交通安全協会発行の「人と車」8月号(P60)にも紹介されました。